

生活保護申請書

新規  
変更

現在住んでいる場所				現在の場所に住み始めた時期 年 月 日							※事務所 受付年月日
世帯員 の 状 況	人員	氏名	個人番号	続柄	性別	年齢	生年月日	最終学歴	職業	健康状態	※町村役場 受付年月日
	1			世帯主							
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
家族のうち別な場所に住んでいる者があるときは、その氏名と住んでいる場所											
資産の状況(別添1)			収入の状況(別添2)			関係先照会 への同意 (別添3)					
求職活動の状況											
援助 をし てく れる 者 の 状 況	世帯員との 関係	氏名	住所	今まで受けた援助及び将来の援助の見込み							
保護を受けようとする理由(具体的に記入してください。)											
申請する扶助の種類			生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭								
<p>上記のとおり相違ないので、生活保護法による保護を申請します。</p> <p>年 月 日</p> <p>申請者 住所又は居所 氏名 保護を受けようとする者との関係</p> <p>地域振興局長 支庁長 殿</p>											

注1 ※印欄には記入しないでください。

- 2 申請者と保護を受けようとする者が異なる場合には、別添の書類は保護を受けようとする者に記入してもらってください。
- 3 変更申請の場合は、変更に係る事項を記入し、別添1から別添3までの書類の提出については、地域振興局長又は支庁長の指示に従ってください。
- 4 不実の申請その他不正な手段により保護を受けた場合には、生活保護法第85条第1項又は刑法の規定によつて処罰されることがあります。

(別添1)

(表)

資 産 申 告 書

地域振興局長 殿  
支 庁 長

年 月 日

氏 名

現在の私の世帯の資産の保有状況は、次のとおり相違ありません。

1 不 動 産

土 地	区 分		延面積	所有者氏名	土 地 の 地 番
	(1) 宅 地	有・無			
	(2) 田 畑	有・無			
	(3) 山 林 そ の 他	有・無			
建 物	区 分		延面積	所有者氏名	所 在 地
	(1) 持 家 居住用 貸 家 ・ 貸 間 (いずれかを○で囲 んでください。)				(家賃 円)
	(2) そ の 他	有・無			

2 現 金, 預 貯 金, 有 価 証 券 等

現 金	有・無					円
預 貯 金	有・無	預 貯 金 先	口 座 番 号	口 座 名 義	預 貯 金 額	円
有 価 証 券	有・無	種 類		額	面	評 価 概 算 額
					円	円

(記入に当たっては、裏面の注意をよく読んでください。)

(裏)

生 命 保 険	有・無	契 約 先	契 約 金 額	保 険 料 (月額又は年額)
			円	円
そ の 他 の 保 険	有・無			

## 3 その他の資産

1 自 動 車	有・無	使用状況	所 有 者 氏 名	車 種	排 気 量	年 式
2 単 車						
3 耕 運 機						
4 船						
5 そ の 他 (該当するものを ○で囲んでくだ さい。)						
貴 金 属	有・無	品 名				
そ の 他 高 価 な も の	有・無					

## 4 負債(借金)

有 ・ 無	金 額	借 入 先
	円	

## 注

- この申告書は、保護を受けようとする者が記入してください。
- 資産の種類ごとにその有無について○で囲んでください。土地については貸地等の場合も記入してください。
- 有を○で囲んだ資産については、次によつて記入してください。
  - 同じ種類の資産を複数保有している場合は、その全てを記入してください。
  - 家族以外の者の名義であつても、実際に保持又は使用しているものは、その全てを記入してください。
  - 有価証券は、例えば「株券、国債」等と記入し、その評価概算額は現在売却した場合のおおよその金額を記入してください。
  - 貴金属は、例えば「ダイヤの指輪」等と記入してください。
- 書ききれない場合は、余白に記入するか又は別な任意の紙に記入の上添付してください。
- 不実の申告をして不正に保護を受けた場合には、生活保護法第85条第1項又は刑法の規定によつて処罰されることがあります。

(別添2)

(表)

収 入 申 告 書

地域振興局長 殿  
支 庁 長

年 月 日

氏 名

私の世帯の総収入は、次のとおり相違ありません。

1 働いて得た収入

働いている者の氏名	仕事の内容 勤め先(会社名)等	区 分	当月分 見込額	前 3 か 月 分		
				月分	月分	月分
		収 入	円	円	円	円
		必要経費①				
		就 労 日 数	日	日	日	日
		収 入	円	円	円	円
		必要経費②				
		就 労 日 数	日	日	日	日
		収 入	円	円	円	円
		必要経費③				
		就 労 日 数	日	日	日	日
必要経費 (前月分)の 主な内容	①					
	②					
	③					

2 恩給・年金等による収入(受けているものを○で囲んでください。)

有・無	国民年金, 厚生年金, 恩給, 児童手当, 児童扶養手当, 特別扶養児童手当, 雇用保険, 傷病手当金, その他( )	収 入 額	年 額 円

3 仕送り等による収入(前3か月間の合計額を記入してください。)

有・無		内 容	仕送りした者又は現物援助をした者の氏名
	仕送り等による収入	円	
	現物援助による収入	米, 野菜, 魚介 (もらったものを○で囲んでください。)	

(記入に当たっては、裏面の注意をよく読んでください。)

4 その他の収入(前3か月間の合計額を記入してください。)

(裏)

	種 類	内 容	収 入
有・無	生命保険等の給付金		円
	財 産 収 入 (土地, 家屋の賃貸料等)		円
	そ の 他		円

5 その他将来において見込みのある収入(上記1~4に記入したものを除く。)

	内 容	収入見込額
有・無		円

6 働いて得た収入のない者(義務教育終了前の者については記入する必要はありません。)

氏 名	働いて得た収入のない理由

注

- 1 この申告書は, 保護を受けようとする者が記入してください。
- 2 「1 働いて得た収入」は, 給与, 日雇, 内職, 農業, 事業等による収入の種類ごとに記入してください。
- 3 農業収入については過去1年間の総収入を当月分の欄に記入してください。
- 4 必要経費欄には収入を得るために必要な交通費, 材料代, 仕入代, 社会保険料等の経費の総額を記入してください。
- 5 2~5の収入は, その有無について○で囲んでください。有を○で囲んだ収入については, その右欄にも記入してください。
- 6 書ききれない場合は, 余白に記入するか又は別な任意の紙に記入の上添付してください。
- 7 収入のうち証明書等の取れるもの(例えば勤務先の給与証明書等, 各種保険支払通知書等)は, この申告書に必ず添付してください。
- 8 不実の申告をして不正に保護を受けた場合には, 生活保護法第85条第1項又は刑法の規定によつて処罰されることがあります。

(別添3)

同 意 書

生活保護法による保護の決定若しくは実施又は費用等の徴収の決定のために必要があるときは、私及び私の世帯員(以下「私等」という。)の下記に掲げる事項(保護の廃止後にあつては、下記1、3及び4を除き、保護を受けていた期間における事項に限る。)につき、  
貴 地域振興局長  
支 庁 長 が官公署、日本年金機構若しくは共済組合等(以下「官公署等」という。)に対し、必要な書類の閲覧若しくは資料の提供を求め、又は銀行、信託会社、私等の雇主その他の関係人(以下「銀行等」という。)に報告を求めることに同意します。

また、貴 地域振興局長  
支 庁 長 の書類の閲覧若しくは資料の提供の要求に対し、官公署の長、日本年金機構又は共済組合等が応じ、又は銀行等が報告することについて、私等が同意している旨を官公署等又は銀行等に伝えて構いません。

記

- 1 氏名及び住所又は居所
- 2 資産及び収入の状況(生業若しくは就労又は求職活動の状況、扶養義務者の扶養の状況及び他の法律に定める扶助の状況を含む。)
- 3 健康状態
- 4 他の保護の実施機関における保護の決定及び実施の状況
- 5 支出の状況

年 月 日

住所又は居所  
氏名

地域振興局長 殿  
支 庁 長